

6

大学院学生について

入学までのキャリア..... (48)

学部学生の大学院選択理由は？

学問のさらなる探求が**65.9%**、希望の職種に就くため**39.6%**、学位の取得が**34.7%**を占める。

家 計..... (50)

景気低迷が取り立たされる今、学生が経済的に自立するのは非常に困難

近親者（親・配偶者など）からによる何らかの支援 **40.6%**、

奨学金 **25.7%**、

現在の就業による収入 **18.8%**





学部学生の 大学院選択理由は？

入学までの
キャリア

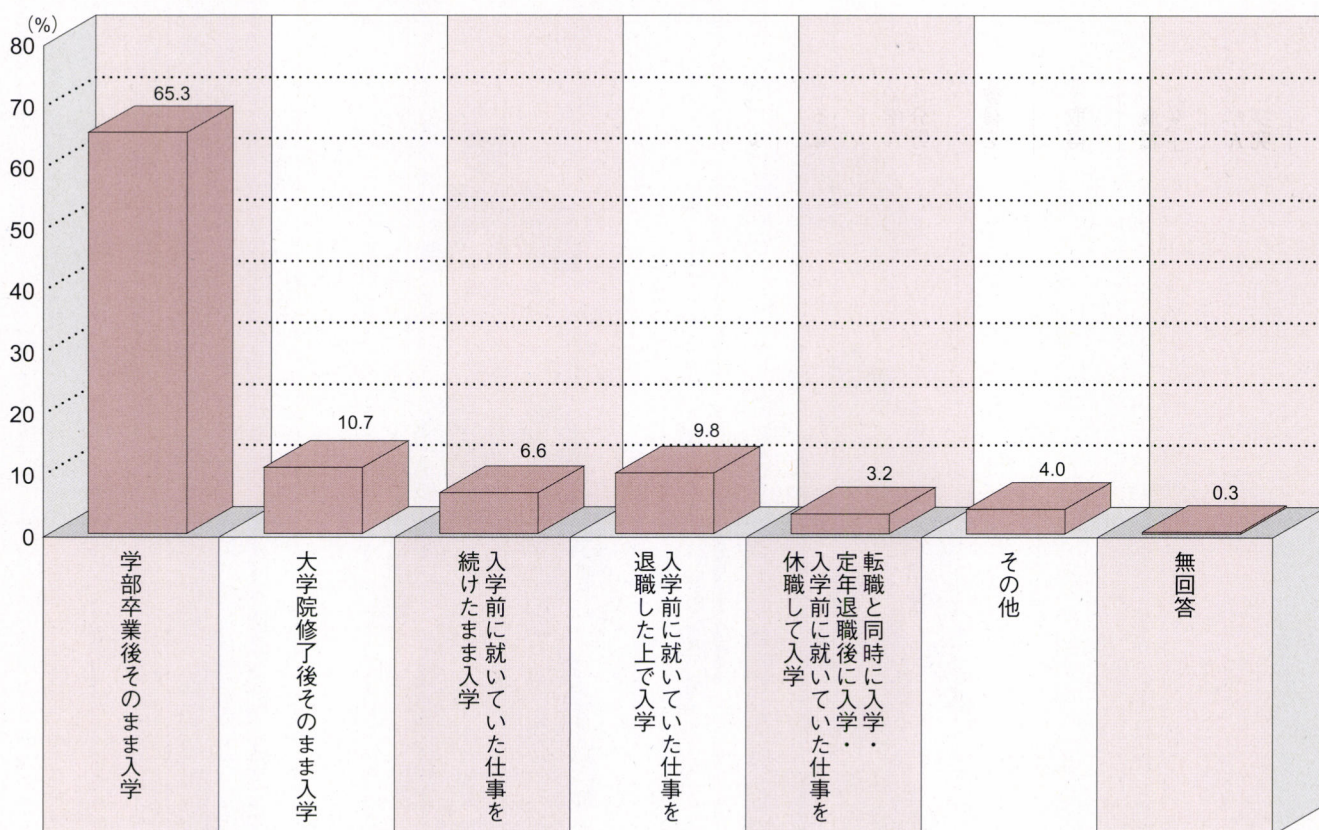
POINT

学問のさらなる探求が**65.9%**、希望の職種に就くため**39.6%**、
学位の取得が**34.7%**を占める。

はじめに、この調査報告書には専門職大学院の調査データは含まれていません。これらの調査結果は別途、データ集、概要のような形式で報告予定です。専門職大学院生を除いた大学院学生の入学までのキャリアを見たときに「学部卒業後博士

課程にそのまま入学」(65.3%)、次いで「大学院修了後そのまま入学」(10.7%)と8割近い学生が、継続して本学で学んでいるということがわかりました。

入学までのキャリアについて該当するものを選択してください。



大学院を受験した目的としては「学部で学んだ学問をさらに探求したい」(65.9%)が最も多く、「希望の職種に就職するために不可欠な、より深い知識を得る」(39.6%)、「学位を取得する」(34.7%)、「大学教員を目指している」(21.4%)、「学部と違った学問をさらに探求したい」(14.7%)などといったことがあげられています。昨年度のデータと比較した場合でもグラフの形状に変化は見れず、学部学生が大学院を受験する場合「学部

と違った学問をさらに探求したい」と「希望の職種に就くため」、「学位の取得」という理由が3本柱になっているようです。「学部と違った学問をさらに探求したい」という回答が多かった点においては、本学が文部科学省の実施する事業「グローバルCOEプログラム」の教育拠点に採択されたほか、若手の育成や研究環境が充実されてきたためとも考えられます。

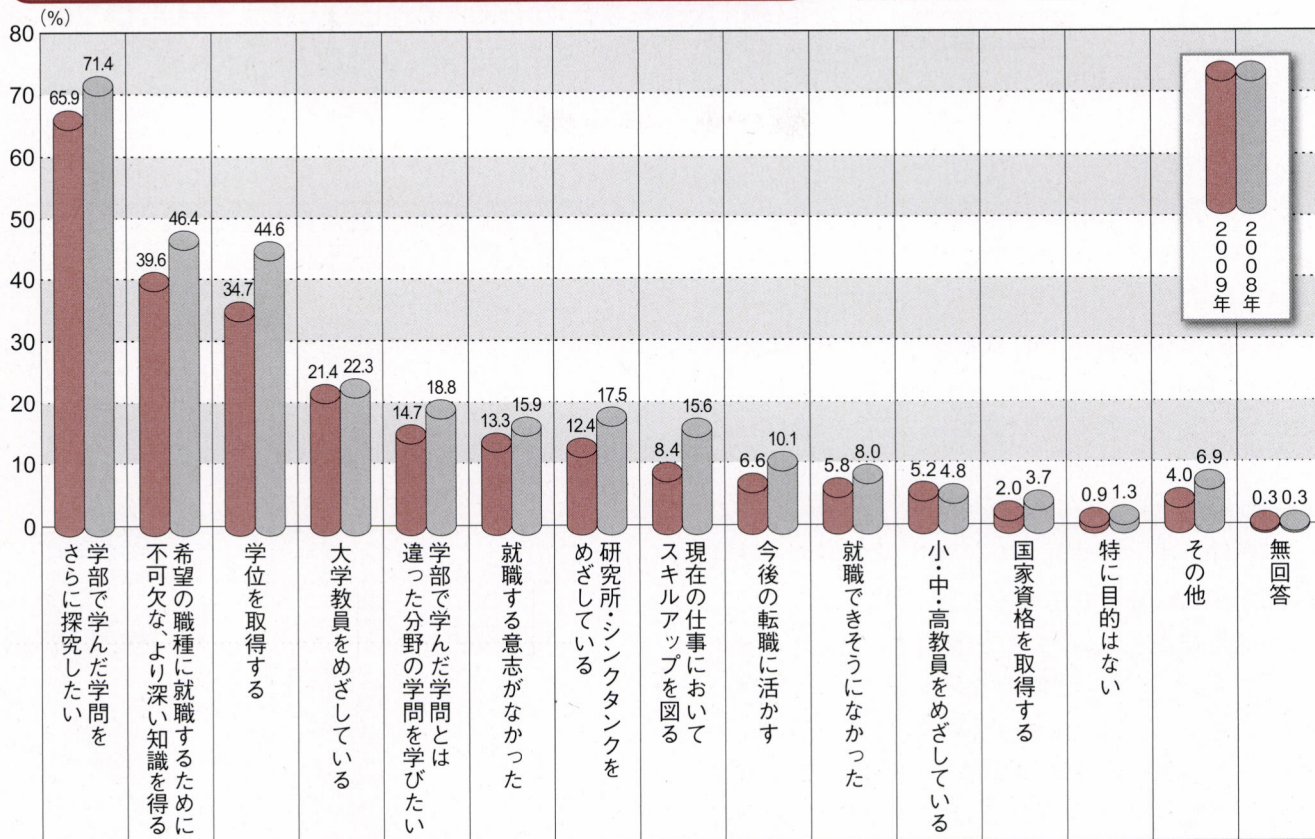
大学院進学にあたり早稲田大学を選んだ理由としても、「自分の志望する専門分野があった」(44.6%)、「教わりたい指導教員がいた」(41.3%)

というように伝統や雰囲気への憧れだけではなく、学問への意欲が昨年度より大幅にアップしています。

大学院を受験した理由は何ですか？ [複数選択可]

経年変化

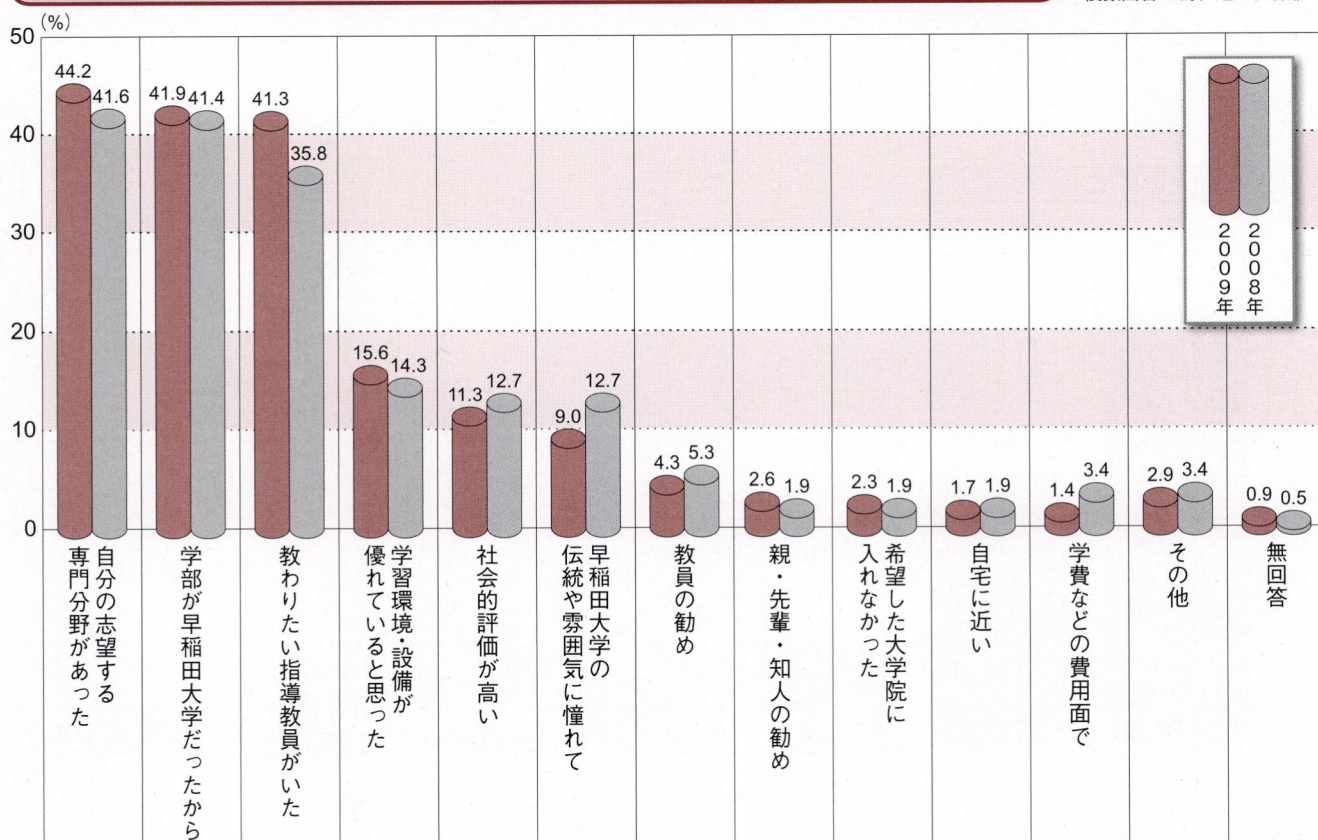
複数回答の為、延べ人数値



大学院進学にあたり、早稲田大学を選んだ理由は何ですか？ [複数選択可]

経年変化

複数回答の為、延べ人数値





景気低迷が取り立たされる今、 学生が経済的に自立するのは非常に困難

家計

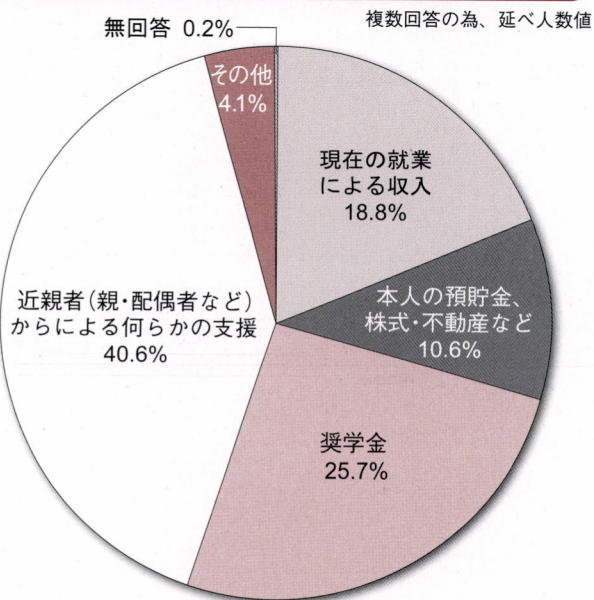
POINT

近親者(親・配偶者など)からによる何らかの支援 **40.6%**、
奨学金 **25.7%**、現在の就業による収入 **18.8%**

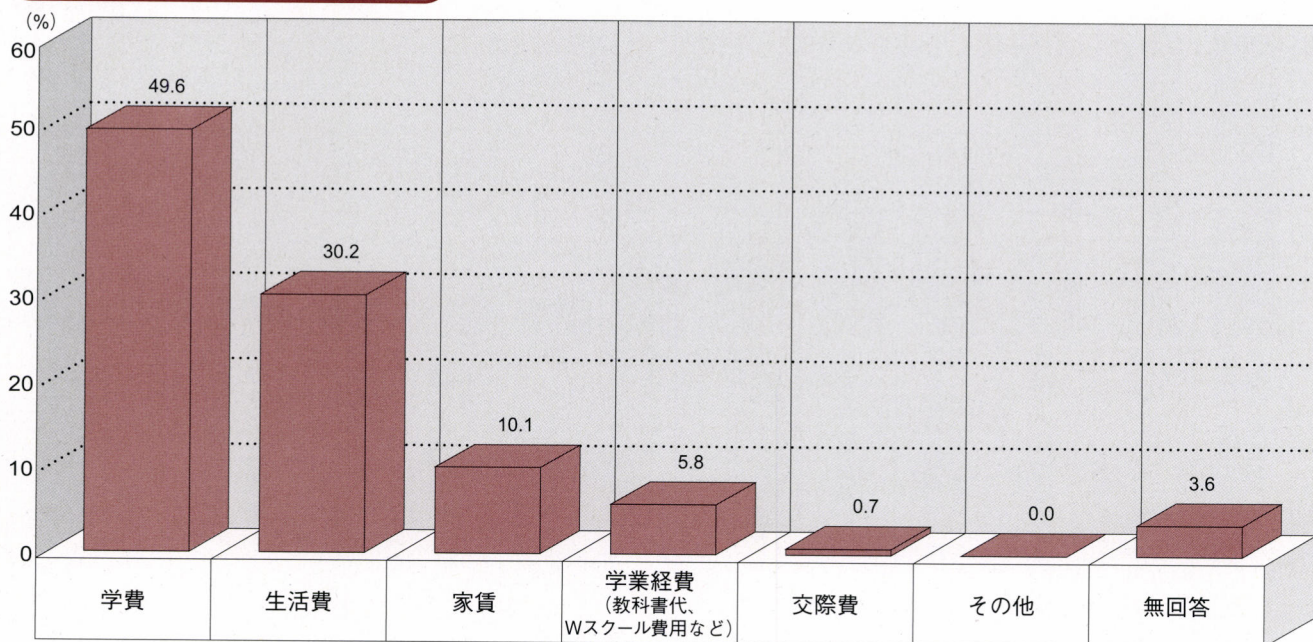
現在の学費・生活費の収入源として該当するものは何ですか？(主なものを2つまで)」という設問で、大学院学生の学費・生活費などの家計について尋ねたところ、40.6%の学生が「近親者(親・配偶者など)からによる何らかの支援」を受けていると回答しています。「現在の就業による収入」という回答は、2008年度の22.8%から今年度の18.8%に減少し、このような結果からも景気低迷が取り立たされる今、学生が家計を支えるのは以前にも増して困難な状況にあるようです。

この調査が行なわれた5月時点でのデータでは、「近親者(親・配偶者など)からによる何らかの支援」の次に「奨学金」と答えている学生がおります。本学には多様な奨学金制度がありますが、本学独自の学内奨学金は100%が給付の奨学金で、全国の大学でもトップの給付人数実績、給付金額実績を誇っており、学生への大きなサポートを担っているといえるでしょう。

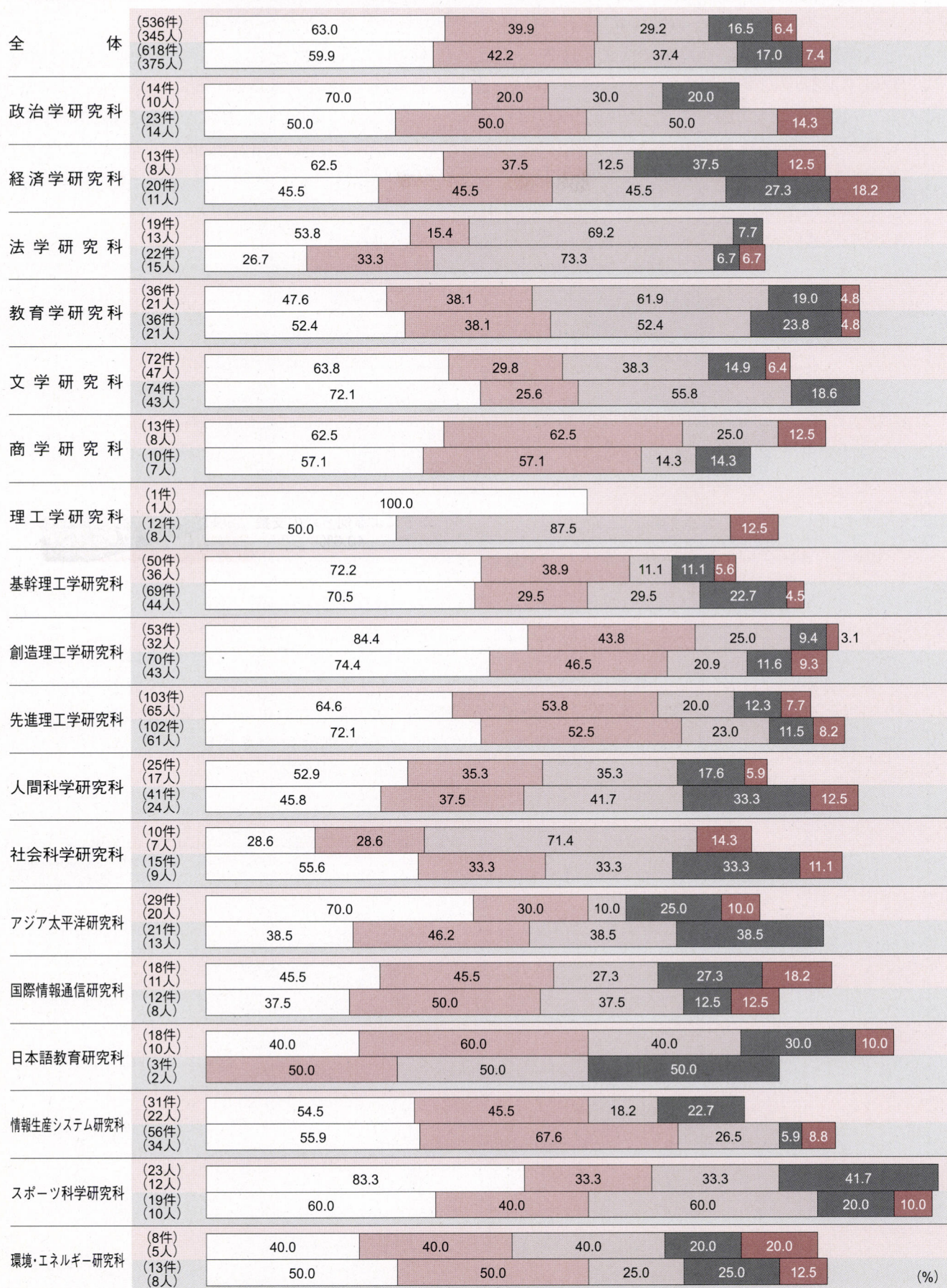
現在の学費・生活費の収入源として
該当するものは何ですか？[複数選択可]



奨学金は主に何に使いますか？



現在の学費・生活費の収入源として該当するものは何ですか？〔複数選択可〕 所属箇所別・経年変化



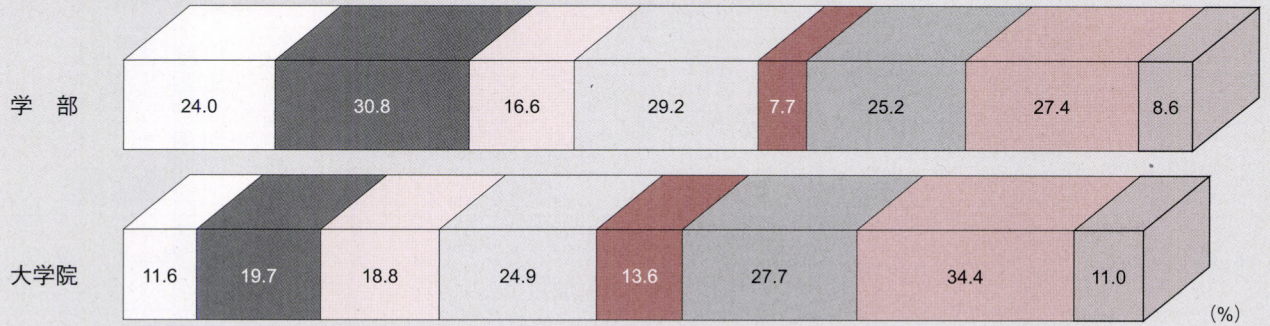
上段は複数回答の延べ数、下段は実際の回答者数

近親者(親・配偶者など)からによる何らかの支援	奨学金	現在の就業による収入	本人の預貯金、株式・不動産など	その他	上段:2009年 下段:2008年
-------------------------	-----	------------	-----------------	-----	----------------------

大学院学生の将来の進路に関する不安事項

大学院学生の将来の進路に関する不安事項は、日本全体に見られるポストドクター学生の就職難や目下進行中の世界的な不況を反映してか、「志望する進路で自活できるか心配」が第一位（34.4%）で、「進路先でやりたいことが出来るか分からない」（27.7%）、「志望する進路先に進む能力がない」（24.9%）、「志望する進路が絞りきれない」（19.7%）、「志望する進路先の情報が少ない」（18.8%）と続いている。なお、学部学生では「志望する進路が絞りきれない」が第一位（30.8%）である。

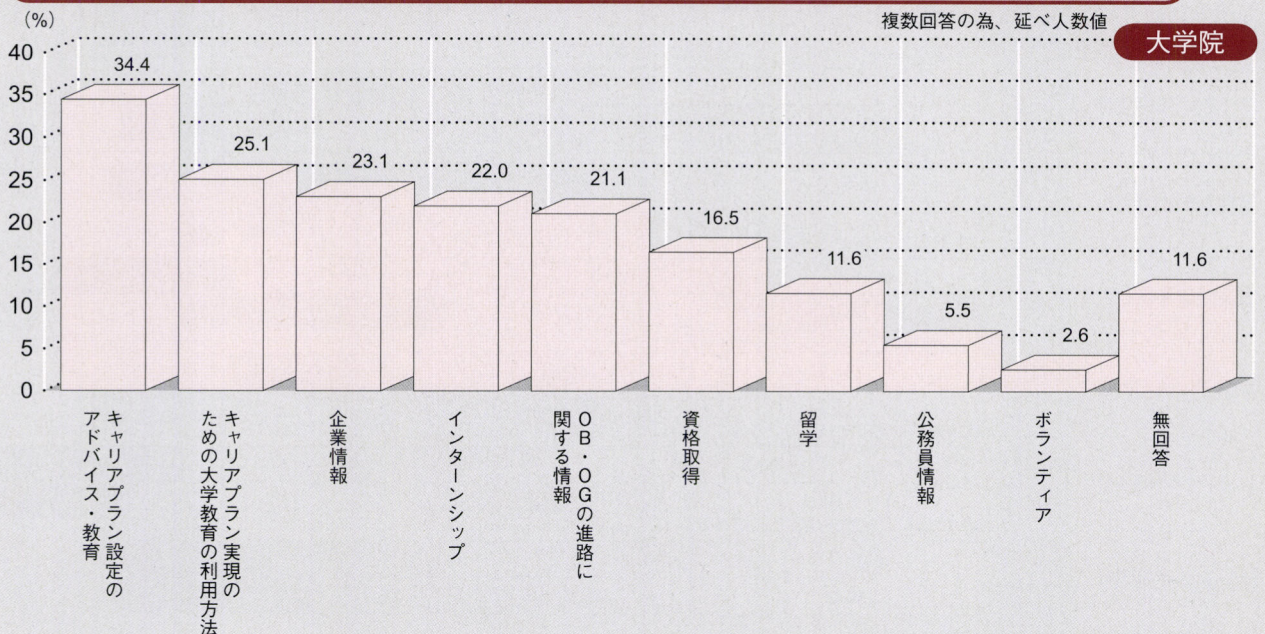
将来の進路についてどのようなことが不安になりますか？



- やりたいことが見つからない
- 志望する進路先の情報が少ない
- 性別・年齢等、自分の能力以外の面で判断され選考に落ちる
- 志望する進路で自活できるか心配
- 志望する進路が絞りきれない
- 志望する進路先に進む能力がない
- 進路先でやりたいことが出来るか分からない
- 無回答

一方、大学院学生の将来設計について大学から提供して欲しい情報・サービスは、「キャリアプラン設定のアドバイス・教育」（34.4%）、「キャリアプラン実現のための大学教育の利用方法」（25.1%）、「企業情報」（23.1%）、「インターンシップ」（22.0%）、「OB・OGの進路に関する情報」（21.1%）となっており、大学の就職情報サービスとしての役割に対する期待が大きいことを示している。

将来設計についてどのような情報・サービスを大学から提供してほしいですか？〔複数選択可〕

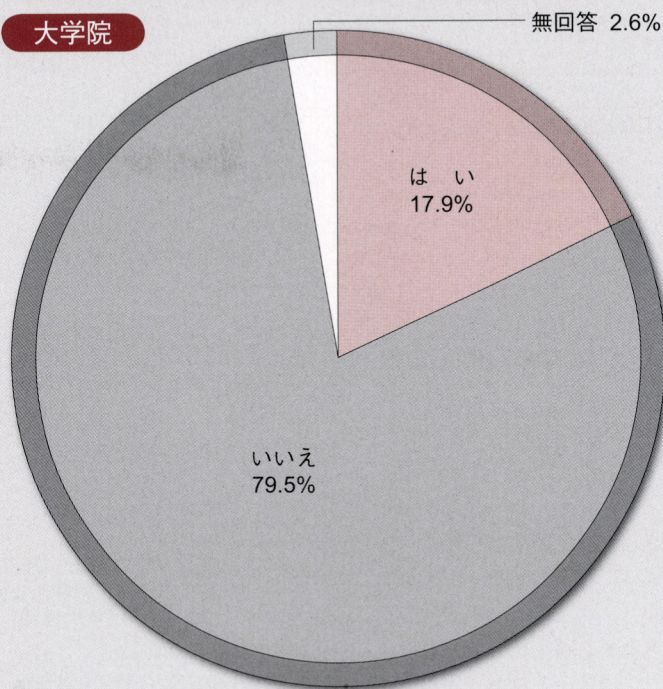


早稲田大学のキャリアセンターの利用歴については、大学院学生の8割程度(79.5%)に利用歴がなく、利用しない理由としては、「どのようなサービスがあるのか知らない」(61.5%)と「場所が分からない」(44.7%)が最も多く、「キャリアプラン実現のための大学教育の利用方法」の周知徹底に課題があることが判明した。なお、学部学生においてもキャリアセンターは8割強(83.5%)の学生に利用歴がなく、利用しない理由としては、「どのようなサービスがあるのか知らない」(74.3%)と「場所が分からない」(54.6%)が圧倒的であった。

※P22キャリアセンター関連記事あり

これまであなたはキャリアセンターやそのサービスを利用したことがありますか？

大学院



「いいえ」と回答した人にお尋ねします。利用しないのはどのような理由からですか？ [複数回答可]

